

(2) 地球温暖化による環境への影響

瀬戸内海における近年の水温は、1989年以降、上昇傾向にあり、特に冬季では、その傾向が顕著であると言われている。漁業者からは、海水温上昇により、冬季の水温低下の時期が1989年当時と比較すると10日間程度遅れていることや、タケノコが取れる時期がおいしいとされるタケノコメバルの漁獲時期がずれてきた、海水温が高いためノリ養殖の開始時期が遅れること、カキの身入りの時期が遅れるなどが指摘されている。また、水温の上昇に伴う水位上昇により、砂浜などの面積が減少するという懸念も指摘されている。瀬戸内海における海水温の変化を図10に示す。

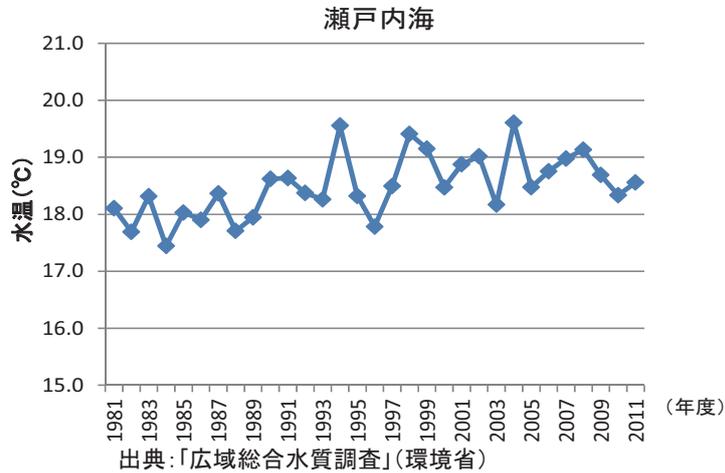


図10 瀬戸内海における海水温の変化

(2) 水環境の保全・創造活動

海の生物の生息環境を改善するためには、高度経済成長期に埋め立てられて、消失した藻場・干潟の回復が必要である。現在、各地に残った藻場・干潟の保全に向けて、表4、図11に示すとおり、地元的环境活動団体を中心に保全・回復・創生の取り組みが実施されている。なお、その取り組み事例は以下のとおりである。

表4 瀬戸内海における藻場・干潟の保全・回復・創生の取り組み事例等

府県名	番号	取り組みの名称	実施団体等	
大阪府	①	男里川干潟	男里川干潟を守る会	
	②	マールビーチアマモ場	NPO環境教育技術振興会	
	③	大阪湾見守りネット	大阪湾に関心のある個人や団体のネットワーク	
兵庫県	④	相生湾及び播磨灘における里海づくり	あいおい播磨灘の里海づくり協議会	
	⑤	漁業者の森づくり(虹の仲間で森づくり)	兵庫県漁業協同組合連合会	
	⑥	漁業者による森づくり	淡路水交会	
	⑦	神戸・住吉川流域における活動	豊かな森川海を育てる会	
	⑧	森とのふれあい活動、森林ボランティア活動	ひょうご森の倶楽部	
	⑨	ハマボウフウの保全(加古川河口砂洲)	水辺に学ぶプロジェクト	
	⑩	森づくり活動	ブナを植える会	
	⑪	ため池クリーンキャンペーン	明石市ため池協議会	
	⑫	いなみ野ため池ミュージアム	いなみ野ため池ミュージアム	
	⑬	甲子園浜の干潟等、海浜の自然環境を守るための普及啓発事業	NPO法人海浜の自然環境を守る会	
	⑭	「なぎさ海道」アマモ場再生プロジェクト*兵庫県に限らず広域的な活動を実施している	アマモ種子バンク	
	和歌山県	⑮	漁民の森づくり活動	和歌山県漁業士連絡協議会

府県名	番号	取り組みの名称	実施団体等
岡山県	⑩	備前市日生町アマモ場造成活動	岡山県、日生町漁業協同組合、生活協同組合 おかやまコープ、NPO里海づくり研究会議
	⑪	アッケシソウの保護活動	アッケシソウを守る会（浅口市）
広島県	⑫	広島県水産多面的機能発揮対策事業（～2015年度）	広島県東部アサリ協議会（浦崎地区）
	⑬	八子の干潟保全活動	八子の干潟調査隊
	⑭	尾道山波の洲の保全活動	尾道地区干潟保全活動組織（平成25年度事業終了）
	⑮	宮島一周クリーン作戦	NPO法人自然環境ネットワーク
	⑯	厳島神社海浜清掃、包ヶ浦海岸の清掃	宮島地区パークボランティアの会
	⑰	水族館のガイドと干潟観察会の実施	宮島水族館教育ボランティア
	⑱	沿岸生物の定期的観察	宮島の磯・生き物調査団
	⑲	沿岸の漂流物・生物の定期的調査	宇宙船地球号の会
	㉑	公園内の清掃活	宮島を美しくする会
	㉒	自然体験学習・保全	みやじま未来ミーティング
	㉓	観光資源としてのエコツーリズムの調査・研究	宮島エコツーリズム協議会
山口県	㉔	虹ヶ浜海岸松林保全ボランティア事業	山口県、光市浅江地区コミュニティ協議会
	㉕	山口県榎野川流域及び河口干潟	榎野川河口域・干潟自然再生協議会
	㉖	山陽小野田海域の干潟の資源の維持・回復を図る	山陽小野田海域干潟保全の会
	㉗	藻場・干潟保全活動支援事業	山口県、下関市、山口県漁業協同組合
香川県	㉘	有明浜の海浜植物の保全活動	有明浜の海浜植物を観察する会
	㉙	海底ごみ除去援助活動	海守さぬき会
愛媛県	㉚	今出ヶ浜・重信川河口の大清掃による環境保全	今出ヶ浜潮騒を守る会
	㉛	藻場・干潟の保全、海岸清掃	大島地区多面的機能活動組織
	㉜	藻場の保全	西条市藻場づくり環境保全協議会
	㉝	海岸清掃	壬生川地区海岸クリーン隊
	㉞	藻場の保全	西条地区環境保全活動組織
	㉟	海岸清掃	禎瑞環境クラブ
	㊱	藻場の保全、海岸清掃	櫛生地区環境保全活動組織
	㊲	藻場の保全、海岸清掃	瀬戸地区環境保全協議会
	㊳	藻場の保全	三崎地区海洋・環境保全協議会
	㊴	藻場の保全、海岸清掃	町見地区環境保全協議会
	㊵	藻場の保全、海岸清掃	伊方地区環境保全協議会
福岡県	㊶	サンゴ礁の保全	愛南さんごを守る協議会
	㊷	海岸清掃	愛南町漂流ごみ回収処理部会
	㊸	豊前海干潟における環境学習	豊の国・海幸山幸ネット
	㊹	豊前市八屋地先の干潟の地域資源の維持・回復	福岡県豊前海区環境・生態系保全対策地域協議会
大分県	㊺	河川・海岸の美化推進事業	タカミヤ・マリバー環境保護財団
	㊻	カブトガニ保護啓発運動	日本カブトガニを守る会福岡支部
大分県	㊼	中津干潟における環境学習	NPO水辺に遊ぶ会



図11 瀬戸内海における藻場・干潟の再生を目指した主な環境活動場所

一方、瀬戸内海では、1898年～2006年の間に約13,000haの干潟が、1960年～1996年の間に藻場が約16,000haの藻場が消失したといわれている。これらの失われた藻場・干潟を修復するために、国土交通省、水産庁にて瀬戸内海環境修復計画が策定され、浅場（藻場・干潟）の修復が進められており、計画策定後、2005年～2009年度の5年間に約157haの干潟・アマモ場等の修復が実施された。これは、概ね「瀬戸内海環境修復計画」の目標を達成するペースで進捗しており、更に約134haのカジメ場・ガラモ場の整備が進められている。

2005年～2009年度の5年間における環境修復事業の取り組み状況は、図12、13に示すとおりで、瀬戸内海中・西部では干潟、覆砂及び養浜等の修復が多く進められており、瀬戸内海東部では藻場（ガラモ場）の修復が多く進められている。

環境修復事業として、大阪湾、広島湾や備讃瀬戸は重点的に修復を行う海域に指定されている。特に、備讃瀬戸航路の中央にある浅瀬「金出ノアサリ（香川県）」は古来マダイの漁場として有名であったが、瀬戸内海に大型船舶が航行するための航路浚渫が1960年頃に行われたことからマダイの生息（産卵）環境が変化し、1970年頃まで漁獲量が減少した。また、海砂の採取によりイカナゴの生息環境がなくなったことからイカナゴの漁獲量も減少した。現在、国土交通省では備讃瀬戸環境修復計画により、魚介類の産卵・生育の場となる藻場・干潟や沖合の砂場を修復し、イカナゴ、サワラ等の生息空間を確保するための事業が進められている。

瀬戸内海の環境修復の取り組み状況と主要事例

環境修復事業実施箇所（2005年度～2009年度）

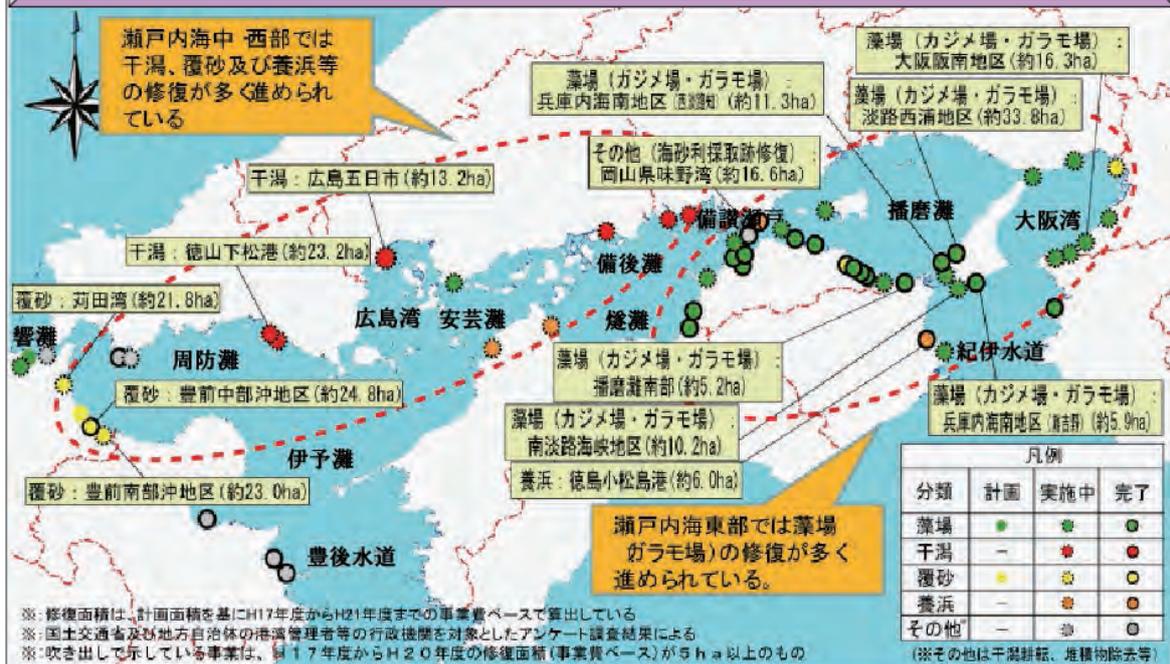


図12 瀬戸内海における環境修復事例

主要事例①：徳山下松港大島干潟

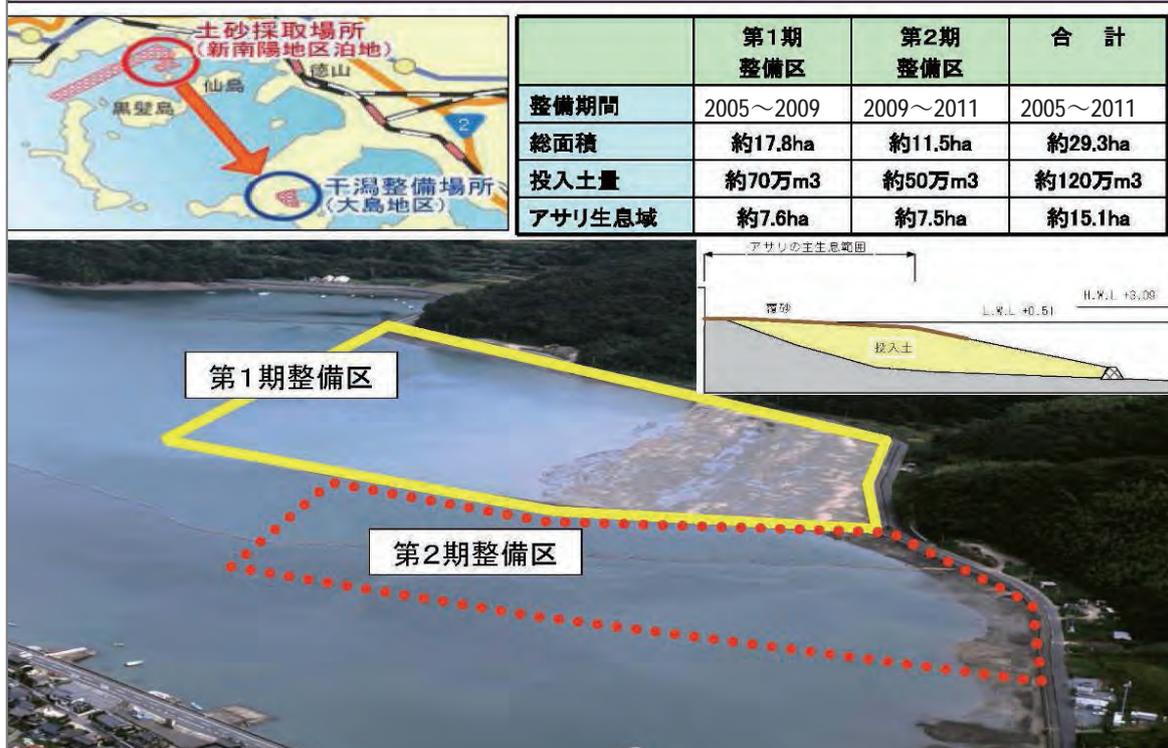


図13 瀬戸内海における環境修復事例（徳山下松港）

出典：国土交通省中国地方整備局 瀬戸内海環境情報センター HPより